

報道機関各位

岩手県立大学ソフトウェア情報学部と京都府立京都すばる高等学校との 高大連携事業に関する協定の締結について

岩手県立大学ソフトウェア情報学部では、ソフトウェア情報学に関する専門教育の担い手として、県内の高校はもちろんのこと、県外の高校とも積極的に高大連携事業に取り組んでいます。その一環として、本学部は、専門学科「情報科学科」を擁し、文部科学省が先進的な取組を行っている専門高校等を指定し支援するスーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）事業（平成 28 年度～）に採択された京都府立京都すばる高等学校との間で、「課題研究」（高校の授業科目）への継続的な支援や情報セキュリティ教育に関する意見交換会議の開催などの事業（平成 29 年度～）を行ってまいりました。

これまでの経緯をふまえ、この度、高大連携事業を通じた生徒・学生の進路意識や学習意欲の高揚を図るとともに、双方の教育・研究の活性化を目的として、岩手県立大学ソフトウェア情報学部と京都府立京都すばる高等学校との高大連携事業に関する協定を締結し、調印式を開催することになりましたので、ご案内いたします。同協定は、本学部としては、岩手県立盛岡商業学校、山形県立酒田光陵高校に次ぐ 3 校目となります。京都府立京都すばる高等学校は SPH 事業において、社会的課題となっている「情報セキュリティ人材育成」に取り組んでおり、本学部はこの人材育成支援の一端を担い、地域・社会への貢献を目指してまいります。

ぜひとも当日のご取材・報道等についてよろしく申し上げます。

記

高大連携事業に関する協定調印式

- 日時：2018 年 5 月 17 日（木）16:00～16:30
- 場所：京都府立京都すばる高等学校 応接室

経緯

2017 年 4 月より課題研究での連携を開始。岩手県立大学ソフトウェア情報学部にはセキュリティの専門家多数在籍することから、同年 9 月より京都府立京都すばる高校情報科学科における情報セキュリティのカリキュラム構築に際しての連携を開始。1 年間の連携試行をふまえ、本協定の締結。

本連携事業の特徴的な点

- 情報セキュリティ教育での協力：京都府立京都すばる高等学校が全国の高等学校に先駆けて取り組んでいる情報セキュリティ人材カリキュラムの構築に際して、両校間で継続的なミーティングを実施し、単なる助言のみならず、具体的な授業の構成・内容および教材開発面でも協力している点。
- 課題研究ネットワークの形成：課題研究での連携では、同じ研究課題に複数の連携協定校が取組み、相互にオンラインでの交流も行い実施している。従来はほとんど行われていなかった課題研究授業における高校の枠を飛び越した高校生同士の連携を実現している点。

<本件の問い合わせ先> 岩手県立大学ソフトウェア情報学部 准教授 後藤裕介
電話 019-694-2698 / Email: y-goto@iwate-pu.ac.jp

1. 京都府立京都すばる高等学校について

平成 29 年度末現在で全国の情報科で 3 校のみが指定されているスーパー・プロフェッショナル・ハイスクール (SPH) 事業の指定を受けており、その先進性と質の高い教育体制・カリキュラムの評価が高い高校です。

SPH 事業とは：

文部科学省が平成 26 年度から実施する事業で、大学・研究機関・企業等との連携の強化等により、社会の変化や動向に対応した高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するため、先進的な卓越した取組を行う専門高校を指定し支援する事業であり、注目されています。

(参考 1) 京都府立京都すばる高等学校 SPH 事業 <http://www.kyoto-be.ne.jp/subaru-hs/mt//research/>

(参考 2) 文部科学省「SPH 事業」 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/shinkou/shinko/1366335.htm

2. 協定締結内容

- (1) 教育・研究に関する双方の情報交換及び交流
- (2) 岩手県立大学ソフトウェア情報学部の教員や学生による京都府立京都すばる高等学校への出張講義や遠隔講義および授業支援
- (3) 京都府立京都すばる高等学校の生徒の岩手県立大学ソフトウェア情報学部での講義等の聴講
- (4) 京都府立京都すばる高等学校の教員による岩手県立大学ソフトウェア情報学部生の教育実習等への協力
- (5) その他、双方で協議の上同意した事項

3. 本高大連携事業における特徴的な取組例

- 情報セキュリティ教育での協力：
京都府立京都すばる高等学校が全国の高等学校に先駆けて取り組んでいる情報セキュリティ人材カリキュラムの構築に際して、両校間で継続的なミーティングを行い、単なる助言にとどまらず、具体的な授業の構成・内容および教材開発面でも協力を行っています。
- 課題研究ネットワークの形成：
課題研究での連携では、京都府立京都すばる高等学校に加え、山形県立酒田光陵高等学校の生徒も同じ研究課題に取組み、相互にオンラインでの交流も行っています。従来はほとんど行われていなかった課題研究授業における高校の枠を飛び越した高校生同士の連携は生徒のモチベーションや研究の高度化につながる可能性が期待されており、3 校の教員は本取り組みに関する研究発表も行っています。



写真：オンラインでの交流の様子
(以上)